

製品名: NIT1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02345**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 36 kDa; Observed MW: 36 kDa

抗原情報

遺伝子名	NIT1
別名	Nitrilase homolog 1
遺伝子 ID	4817
SwissProt ID	Q86X76
免疫原	ヒト NIT1 の合成ペプチド

背景

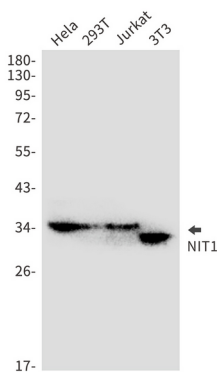
N-(4-オキシグルタレート)-L-システニルグリシン（脱アミノ化グルタチオン）のアミド結合の加水分解を触媒し、有害な脱アミノ

化グルタチオンを除去する代謝修復反応を促進する。細胞増殖およびアポトーシスに関与し、発現低下は細胞増殖、DNA 損傷ストレスへの抵抗性、および NMBA 誘発性腫瘍の発生率増加を促進する。がん細胞におけるアポトーシス応答性を高める腫瘍抑制特性を有し、この効果は FHIT の腫瘍抑制活性に付加される。また、一次 T 細胞の負の調節因子でもある。

研究分野

細胞生物学

画像データ



NIT1 抗体を使用した HeLa、293T、Jurkat、3T3 溶解物中の NIT1 のウエスタンブロット分析。